

岩手県立高田高等学校

校長 菅野 慎一
所在地 陸前高田市高田町字長砂 78-12
電話 0192-55-3154

1 会議の名称

平成 29 年度岩手県立高田高等学校学校第 1 回学校評議員会

2 会議の構成

評議員	昆野賢寿氏	(陸前高田市立高田東中学校校長)	
	残間潤氏	(元 P T A 会長 住田郵便局)	
	坂本晋氏	(岩手県栽培漁業協会専務理事)	
	菊池純一氏	(菊池豊店)	「欠席」
	坂口幸嘉子氏	(森の前薬局)	
学校側	菅野慎一	(校長)	
	高橋正勝	(副校長)	
	和田秀雄	(副校長)	
	高橋俊一	(事務長)	

3 会議の目的

学校運営等について地域住民代表から幅広く意見を聞き、相互の意思疎通や協力関係を高め、地域社会に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。

4 会議の開催

平成 29 年 9 月 2 日 (土) 13:30~14:30 [本校応接室] 評議員 4 人、学校側 4 人

5 会議の次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 出席者自己紹介
- (4) 学校概況説明
 - ア 平成 29 年度学校経営計画について
 - イ その他
- (5) 質疑応答
- (6) 提言
- (7) 閉会

6 会議の概要

- (1) 学校概況説明 (校長・イ (ウ) 事務長)
 - ア 平成 29 年度学校経営計画について (約 20 分)
学校経営計画の概要と評価指標の説明
 - イ その他 (約 5 分)
 - (ア) 部活動等の状況について
 - (イ) 広報「八重の汐」について
 - (ウ) 施設災害復旧スケジュール

(2) 質疑応答・提言

- ア 評議員 生徒のマナーがしっかりしている。中学校でも指導して送り出したい。
- イ 評議員 海洋システム科の活性化として、卒業後水産系の上級学校への進学を保証してやりたい。子どもでなく、親を説得する方が確実。
PTA 出席率が 20%を超えたことはすばらしい。案内が届かないこともあるので、今後も工夫と確認をお願いしたい。
- 学校側 夏休みに「海と日本プロジェクト」が開催されて、親子体験が行われた。これから、実習体験教室を市内 3 小学校対象に行う。
岩手大学農学部海洋システム科が専門高校枠で募集している。何とか薦めたい。28 年度は普通科からの水産系学科への進学、県の実習船の乗組員の合格があった。今年度は、海洋技術短期大学校への A0 志願者が 2 名いる。
PTA 総会は春先なので、入学間もない保護者は PTA 行事に慣れていないが、休日開催や講演会などを盛り込んだ内容で、今後も工夫をしていく。
- ウ 評議員 県漁連でも、希望者がいればぜひ応援したい。
船員有資格者の雇用確保が難しい。今後さらに難しくなる。県の調査船には広水や宮水の卒業生が多い。
文化祭を見学して、進路希望発表の展示で、5 組（海洋システム科）の生徒に水産関係への就職や水族館職員の希望者（1 年 4 人、2 年 5 人）がおり、良いことだと思った。
- 学校側 入試の面接などから吉浜や綾里の生徒が漁業を希望している状況がある。
岩手大学の海洋システムへの希望者を作りたい。
- エ 評議員 遺児・孤児などで里親が必要な生徒のケアはどのように行っているか。
学校側 他人の保護に置かれている生徒は、現在は大洋学園の生徒 5 人のみである。ただ 22 名の遺児・孤児いるので、父・母や祖父母などと連携しながら支援をしている。奨学金などの照会も行っている。